

## ブリストル大学から来所

2014年1月9日午後、第2回京都大学－ブリストル大学シンポジウムの一環として、ブリストル大学カボット研究所から、Richard Pancost 教授（現所長）、Paul Bates 教授（前所長）、Joachim Gottsmann 准教授、Ryerson Christie 講師、Jeffrey Neal 研究員の計五名が来所されました。本研究所は、2011年3月にカボット研究所と部局間学術交流協定を結んでおり、合同ワークショップは今回で3回目になります。

大志万直人所長から本研究所の概要説明があり、続いてお互いの自己紹介後、防災研究所紹介DVDを視聴し、多々納裕一副所長、中北英一教授、井口正人教授、立川康人教授（京都大学工学研究科）、森信人准教授、横松宗太准教授、安田誠宏助教を交えて、今後の研究連携について意見を交わしました。その後、場所を変えて、1月10日まで防災研究に関する意見交換会、宇治川オープンラボラトリーの見学（川池健司准教授）等を行いました。

